

次世代の子供たちのための次世代 DAT（デジタル・アセット・トレジャリー）事業構想の検討開始について

— Solana ブロックチェーンと AI を活用した活動履歴のデジタル証明基盤 —

2026 年 1 月 28 日

株式会社マツモト

株式会社マツモト（本社：福岡県北九州市、代表取締役：松本大輝）は、事業収益を、活動する子供たちやその家庭に還元・分配するエコシステムの構築を目指して、「次世代の子供たちのための次世代 DAT（デジタル・アセット・トレジャリー）事業」構想の策定に向け、検討着手開始することをお知らせいたします。

また、個人やチームによる多様な活動履歴や成長のプロセスを、信頼性の高い形で記録・管理・活用することを目的とした「改ざん困難なデジタル証明書」として発行。従来の成績表では評価しきれなかった個々のスキルや貢献度を可視化します。

本構想は、特定の分野・団体・制度への導入を前提とするものではなく、将来的に教育、人材育成、クリエイティブ、地域活動など、幅広い領域での活用を見据えた中長期的な基盤研究として位置付けています。



■ 背景

近年、社会全体において学び方や働き方、活動形態の多様化が進み、個人や組織による取り組みは非定型化・分散化しています。一方で、従来の評価や記録の仕組みでは、活動の過程や継続性、工夫や貢献の内容といったプロセスが十分に蓄積・可視化されにくいという課題が顕在化しています。

こうした社会構造の変化を踏まえ、当社では、活動の「結果」だけでなく「履歴やプロセス」を含めて信頼性高く残すための新たな仕組みについて、技術的観点からの検討を進めることいたしました。

■ 構想の概要

本構想では、活動や取り組みの履歴を改ざん耐性を有するデジタル記録として管理する「Proof of Growth（成長・活動履歴の証明）」という考え方を採用します。

評価や序列付けを目的とするものではなく、行動、継続、関与といった事実を時系列で記録し、後から参照可能な形で保持することを目指しています。これにより、従来の定量的な指標のみでは把握しにくかった取り組み内容や関与のプロセスについても、整理・可視化されることを想定しています。

■ 技術検討の方向性

本構想は研究・検討段階として、以下の要素を軸に進めてまいります。

1. 次世代の子供たちのための次世代 DAT（デジタル・アセット・トレジャリー）

生徒の学習意欲向上と、将来のキャリア形成を強力にバックアップするため、仮想通貨を始めとしたいくつかのポートフォリオを活用し、活動する子供たちやその家庭に還元・分配するエコシステムの構築を目指します。経済的な側面からも挑戦を後押しする新しい仕組みです。

ただし、仮想通貨は相場の変動が激しいことから、当社が不利益にならないような方法について慎重に検討を重ねています。

2. Solana ブロックチェーンによる活動履歴のデジタル証明

高速かつ低手数料を実現するブロックチェーン「Solana（ソラナ）」及び、そのネイティブトークン（暗号資産）である「SOL」を主として、個人やチームによる多様な活動履歴を、改ざん耐性を有するデジタル証明として記録・管理する仕組みの構築を研究しています。

従来の定量的な指標のみでは把握しにくかった取り組み内容や関与のプロセスについても、時系列で整理・可視化することを目指しています。

3. AI による解析・可視化

蓄積された活動履歴データを AI で分析し、成長傾向や取り組みの特徴を整理・可視化する手法について検討を進めます。

※本検討は、特定の評価制度や運用方法への適用を前提とするものではありません。

■ 今後の見通し

本構想は中長期的な研究・検討プロジェクトであり、現時点において当社業績への影響は軽微です。

今後、検討の進捗に応じて、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

■ 企業情報

【株式会社マツモト】

所在地：福岡県北九州市門司区社ノ木 1-2-1

企業公式サイト：<https://www.matsumoto-inc.co.jp/>

株式会社マツモトは、1932 年創業の北九州市に本社を構える総合印刷会社です。年間に納品するアルバムの学校数は約 7,000 校にも上ります。業界に先んじて商業用インクジェット印刷工場なども設立し、常に最新の事業に投資してまいりましたが、近年では印刷事業だけではなく、2023 年 2 月より web3、ブロックチェーンを使ったビジネスにも取り組んでいる会社です。

■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社マツモト I R 推進準備室 壇 道彦

(TEL. 092-400-6300)